

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年2月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	山根建設有限会社
所在地	広島県江田島市大柿町柿浦乙 2346 番地 7
代表者役職・氏名	代表取締役 山根 修
担当者連絡先	電話：0823-57-2501
	メール：chiemi@yamanekensetsu.co.jp
ウェブサイトURL	https://yamane-marine.wixsite.com/main

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和49年に創業した総合建設業者であり、広島県の港湾、海岸、河川を中心とした海上土木工事、浚渫工事、その他一般土木工事の請負事業を実施しています。 弊社では4船団の海上クレーンを所有し、年間を通し海洋土木工事を柱とした事業に従事する一方で、牡蠣の生産率が日本一である、広島県各所の湾内にある牡蠣いかだのワイヤー張替え作業を実施しています。 近年の異常気象や海洋ごみによる海洋汚染など、海を取り巻く環境が大きく変化している中、自然界に与える影響の少ないグリースを取り入れるなど、人々の健康や環境との共存共栄に貢献し、新たな技術を探求し続けるとともに、これからも未来ある子どもたちに、安心・安全で美しい海・川を提供していきます。
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	環境マネジメント対策として、起重機船作業時に必要不可欠な作動油を、環境対応油圧作動油に転換することで、油の漏洩による港湾、河川、土壌の汚染軽減を図る。	環境対応油圧作動油（NETIS 登録）を使用する起重機船 【現状】2 艘 【目標】3 艘
✓環境 □社会 □経済	工事の主要動力である起重機船上に太陽光パネルを設置し、作業時の照明をソーラーライトに変換することで、省エネルギー化を図る。	起重機船への太陽光パネル設置 【現状】2 艘 【目標】4 艘
□環境 ✓社会 ✓経済	職員が仕事と家庭を両立させることができ、働きやすい環境を作ることによって、すべての職員がその能力を発揮し、安心して働き続けることができるようにする。	「広島県仕事と家庭の両立支援登録制度」への登録 【現状】未登録 【目標】登録完了

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8							
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1	
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3						11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7						12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ 起重機船に太陽光発電パネルを設置し、夜間の作業時にソーラーライトとして使用している。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9										12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ NETISIに登録されている環境対応油圧作動油を起重機船の作動油として使用し、港湾、河川、土壌への油漏洩リスク軽減と環境へ配慮している。 ・ 海洋工事の際に必要なに応じて汚濁防止膜を設置することで、環境汚染リスクの低減を図っている。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ 社会課題に対応する(近年多発する災害リスクに備える)ため、耐久性の高い港湾インフラの整備(岸壁や防波堤等の海洋土木工事)に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・ 地域住民の生活及び、地域漁協の海域に与える影響(振動・騒音・海洋の水質等)に十分配慮し、施工している。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ 広島県が推進するアダプト活動(清掃活動)への参画や、地域の漁協と協同で、定期的に港湾の清掃活動を行う他、地域イベントへの寄付を行う等、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。				4							11			14	15		17

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・県内牡蠣業者の約50%の牡蠣ワイヤーの張替え作業を担っている。牡蠣は県内のみならず全国に出回り、間接的に地産外商に繋がっている。								8	9		11	12	13				
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念や経営・品質方針等を、従業員が日常的に出入りする事務所に掲示することで共有を図っている。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・自社の就業規則に基づき、コンプライアンスを規定するとともに、社員に対し、説明と誓約書をもって理解、周知を図っている。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	・顧客、取引先、従業員、行政、地域社会等、各ステークホルダーとのコミュニケーションを行い、そこで得られた評価や意見等は、改善・新たな取組みにつなげている。																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

[illegible]

令和 7 年 3 月 2 5 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	広島県江田島市大柿町柿浦乙 2346 番地 7
名称：	山根建設有限会社
代表者：	山根 修
登録年月日：	令和 6 年 3 月 2 2 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	環境マネジメント対策として、起重機船作業時に必要不可欠な作動油を、環境対応油圧作動油に転換することで、油の漏洩による港湾、河川、土壌の汚染軽減を図る。	環境対応油圧作動油（NETIS 登録）を使用する起重機船（3 艘）	2 艘を現状維持で稼働。
✓環境 □社会 □経済	工事の主要動力である起重機船上に太陽光パネルを設置し、作業時の照明をソーラーライトに変換することで、省エネルギー化を図る。	起重機船への太陽光パネルの設置（4 艘）	2 艘に現状維持で設置。
□環境 ✓社会 ✓経済	職員が仕事と家庭を両立することができ、働きやすい環境を作ることによって、すべての職員がその能力を発揮し、安心して働き続けることができるようにする。	「仕事と家庭の両立支援登録制度」への登録	登録が完了した。 （有給休暇、育児休暇取得を促した）